

礼拝メッセージ (8月5日)

『御言葉にとどまる』～あなたは自由～

【ヨハネ 8:28~32】

私たちはいつも自分に変化を求めています。しかし私たちに本当に変化が与えられた時、はたして素直に変化を受け入れる事ができるでしょうか？私たちは変化を求めながらも変化を嫌います。世の中も同じです。しかし、私たちクリスチャンまで変化を嫌って良いのでしょうか？神様は一時の事で私たちを見ていません。あなたの一生が幸せになるように見ておられる方です。だからあなたに変化を与えるのです。あなたを見て誰もが「いいな」と思うようになりたくないですか？人から輝いて見えるという事はあなたが変化していると言う事です。イエスの弟子たちも自分を変化させる事に必死でした。聖書の中で願いが叶えられる時は必ず神様からの条件があります。その条件とは「変化を受け入れる」という条件です。クリスチャンが変化を受け入れる時の一番の戦いは自分です。自分自身の「変わりたくない」「めんどくさい」という心が問題になってきます。イエス様は変化を恐れませんでした。いつも自信と確信を持って事を行っていました。自信を持てたのは、イエス様はいつも御心を行っていたからでした。イエス様がいつも必ずしていた事は御言葉にとどまる事でした。これこそが御心なのです。だからイエス様は血のにじむような十字架にも従って行く事ができたのです。イエス様は真理です。真理はあなたを自由にします。(ヨハネ 8:31,32) そして私たちを決して一人にはしません。私たちが望んでいる事が真理(イエス様)から出ているのであれば変化を躊躇する理由はないのではないのでしょうか。自由とは自らが立たなければなりません。人から与えられるのではなく自分から自分のビジョンを神様に求め、自分で取りに行かなければ本当に受け取る事はできないのです。弟子たちの姿を見ても弟子だからこそ多くの特典が用意されている事がわかります。(マルコ 16:15~20) 私たちも弟子です。私たちを取り巻く様々な問題は弟子である私たちにとっては心配するような事ではないのです。私たちが恐れず素直に御言葉にとどまる為に①**変化を受け入れる**。変化が訪れた時、何かと理由をつけてできないというのは止めましょう。「めんどくさい」という心を取り去って下さい。やれば必ずできます！②**心配をとる**。心配はあなたにとって何のプラスにもなりません。心配にとらわれていると自由になれません。③**御言葉を実践する**。(マルコ 16:20) 御言葉を実践すれば、聖書の話のように、貧しい人が豊かになり、病が癒されるのです。御言葉を実践する人には既にたくさんの約束が用意されているのです。(詩篇 1:1~6) しかし、この約束は御言葉にとどまり、それを信じていなければ約束が実現される事はありません。御言葉にとどまり本当の自由を手に入れましょう。